



# 須玖公民館が新築完工

## 鉄筋ブロック平屋建て

三月二十一日、かねてか転増築することに決定し、工式が行なわれ、この日より他の地区と共に本町社会教育委員の新しい力となつて活動が進められることが期待される。

この公民館は、大正初期に教育委員として建てられ、その後公会堂に転用されてきたものである。昭和二十八年、九年須玖町公民館の組織活動が始まって公民館となり、須玖地区に於ける社会教育の拠点となつた。その後十年を経た須玖町発展によつてこの公民館は不十分なことが多く、始め、増築を研究していたが、この研究が進展して移築増築することに決定した。

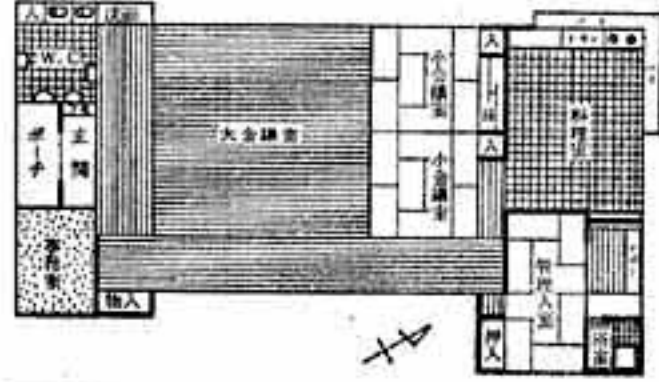
位置を須玖地区の将来を展望して東に移築し、敷地三百坪を譲り、鉄筋ブロック平屋六十坪を建築した。

この公民館の特徴は、一、構造が本町内初の鉄筋ブロック造りである。二、管理人の為に住居二部、調理室、風呂場が用意されている。三、廊下が「フロント」の役割を果すよう設計されている。四、料理教室の「スペース」が広く設計されている。五、敷地内に花壇や、児童遊園等の設備がなされ得る。

午後からは地元内の役員に呼び、五九席の座席が並べられた。



完工した須玖公民館



となり、新築成った公民館に寄せる期待と喜びで町内は終日にぎわった。

# 花だより

公共花壇や家庭花壇の手引きを今週より福園農業高等学校同窓生に、執筆をお願いして掲載します。

## 四月に行う 花壇の手入れ

夏から秋にかけて咲く草花の種子は三月の彼岸から三月末にかけて播きますが四月には芽が出て茶や葉が伸長して狭くなるので二、三回に分けて間引き、強い苗を作るようにしましょう。

本葉が三、四枚位になった時他の畑に植替えることも丈夫な苗を育てる場面で、このときよく腐った油粕か、鶏糞、堆肥を土の中に入れて混ぜておくと発育も一層よくなります。

2苗が出来たら花壇に植込みましよう。

花壇の広さや、雑物の除去に合せて好きなデザインを考えて、播いた苗を市床から運び出して植付ます。花壇の上や溝にいつまでも水が溜らないよう排水のよいことも大切なことです。3株分けるのも今がよい時期です。

菊、ガーベラ、ふらんす、シスターズ、スターゲイジ、このときよく腐った油粕か、鶏糞、堆肥を土の中に入れて混ぜておくと発育も一層よくなります。

# 学校だより

## 春日東小学校

本校は春日町四小中学校の二男坊として昭和二十六年四月独立校として発足し、今日迄十四年の歳月を過ぎました。現在は初代校長高島久一先生より六代目の木村明敏校長を迎えています。

児童数八百六十四名、職員校長、用務員、給食婦計二十九名、同じ屋根の下で日米米の日本を背負って立つ第二の国民の育成に精進致しております。その間昭和二十九年九月、現春日町教育長相澤邦雄氏が本校在任中より保健教育の模範学校として指定を受け、その後保健研究し、昨年度まで保健教育をテーマに研究実践を続けて参りました。その成果は県より保健優良校として認められ、表彰を受ける事三回に及んでいます。

## 子供の指導・手引 その(一)

児童が研究され教育実践へ果し切れば教育の効果は一層と向上するであろうとの構想のもとに次のように三ヶ年の継続研究の計画を樹立しました。

・一年次(本年度)児童の生活調査、基礎理論の研究を進めながら研究の場の方角を決定する。

・二年次(四十一年)学級社会のリーダーの育成やメンバーの社会性の向上を図る。

・三年次(四十二年)学級社会における社会的問題の解決に資する。

第一、二年児童の発達的性質と指導の目標

小学校に進学したといつても、こどもの発達段階に増大するとか、指導の方法をいかに変えなければならぬといふものではない。といは、こどもの小学校入学は、おのずからこどもの家庭生活に開ける。こどもの発達段階を拡大する。そこで指導は五才児(前考)の発達段階に開ける。

一、発達性質

(一) 身体的性質(略)

(二) 社会的、情緒的発達

(三) 数入いっしょになり、かなりの時間遊ぶことができる。

(四) 男女の区別なく、いっしょに遊ぶことができる。

(五) しばしばけんかをする。

二、指導の目標

(一) 日常生活で使われるお金の比較的な価値を知るようになる。

(二) 理解

(三) 家庭の生活を幸福にするために、家庭の人々はみな何かの役割を分担している。

(四) すべての家庭が健康を保持前進しよう心がけなければならない。

(五) 家庭や学校では健康と安全を保つために、いろいろのことをしている。

(六) 家庭や学校では、みんなが楽しむための行事や設備を持っている。

(七) 家族や友だちは、男女の区別なく、互に尊敬し親切に助け合うことがたいせつである。

(八) 自分でしてよいこと、自分でしなければならないこと、人に援助してもらわなければならないことがある。

(九) 家庭の人々は近所の人々と仲よくつきあわなければならない。

(十) 能力技能(略)

(一) みんなでできた遊びや作業に喜んで加わる。

(二) きまりを理解して自分の身のまわりを整えようとする。

(三) 行儀よく食事を摂る。

(四) 粗食しない、いろいろな食物をとる。

(五) 室を清潔できれいにしている。

(六) 使用した物を、他の人がすぐに使えようようにして置く。

(七) ことを正しく用い、礼にかんたった行動をする。

# 私の提案

坂本 一郎

成人式でしようか。この十五日は外に生まれた人は未成年と若くは思っています。何故ならば他の町村では二十才の人が成人式に参るが、須玖公民館は十九才で成人式が参っている。この点が異なっている。

民法第三條によると二十才を成人者としてある。これも一月一日より十五日までの人の事を指し、他の人は未成年である。

## 正しい仕事

自分の健康をそこねない。そして他人に迷惑を及ぼさない。これが他人に喜びを与える。他人の生活に役立つ仕事でなければならぬ。

死ぬまで義務を果たした。死ぬまで自分に忠実。死んで他人を愛する。死んで他人を愛する。それは真実である。

(一) わが人生観

(二) 武者小路実篤

公民館としては未成年には酒を呑んでもいいとは思っていない。少年にも二十才にならざる人は少年児童福祉法には生後一ヶ月未満は入乳、就学まで児童、就学後十八才まで少年十八才以上二十才まで青年と認める。我々は少年に酒を呑めどいつまで指導しているのと同じではありますまいか。この点は禁酒すべきか。成人式は未成年もいる事故に廃止すべきか。思う。